

困難な問題を抱える女性への支援事業【宇治市】

個別事業費	4, 091 千円
交付金額	1, 643 千円

地域の実情と課題

当課が実施している女性相談について、市民アンケートにおいて認知度が20%程度に留まっており、市民に対して相談できる窓口があることの周知が必要。

事業の特徴

女性問題アドバイザー等による予約のいない電話相談を実施。
併せて、困難な問題を抱える女性にむけたセミナーを実施。

事業の効果

女性問題アドバイザー等による電話相談は、昨年に比べ件数が減少している。
また、本市関係各課の他、NPO法人などとの連携に努めており、アドバイザー・コーディネーターによる同行支援を実施できた。

目的・目標

困難な問題を抱えた女性への相談体制の一層の強化を図る。

目標相談件数:200件 実施相談件数:123件

目標セミナー参加者:20人 セミナー参加者:32人

連携団体

京都府家庭支援総合センター

宇治市DV対策ネットワーク会議

本市関係各課

今後の課題

相談件数の減少が、問題を抱える女性の減少ではなく、問題の潜在化による恐れもあることから、引き続き女性相談窓口の周知を継続していく必要がある。

困難を抱える女性への支援 女性問題アドバイザーの配置

- ・女性のための電話相談の実施
- ・本市関係各課に、DV防止の啓発と相談窓口を周知
- ・本市関係課からの要請で、アドバイザーが窓口に出向いて相談を受けたり、家庭訪問への同行を実施

宇治市
男女共同参画課

宇治市DV対策
ネットワーク会議※

京都府家庭
支援総合センター

※京都弁護士会、医師会、ウィメンズカウンセリング京都、NPO法人アウンジャ、民生児童委員協議会、法務局、宇治警察署、山城北保健所ほか

ACEセミナーチラシ

令和6年度困難を抱える女性のためのセミナー

第5次男女共同参画基本計画4の（11）「困難な状況を抱えた女性等への支援と多様な価値観を尊重する社会づくり」に該当します

あなたは知っていますか。
子ども時代に負った心の傷のために、一生苦しみ続ける人たちがいることを…

「大人の生きづらさ」を生む ACE（子ども期の逆境体験）を考える

※ACE(子ども期の逆境体験)とは、0歳から18歳までの子ども時代に経験する、トラウマ(心の傷)となりうる出来事を経験する事。

子ども時代に虐待やネグレクト、さまざまな家族の問題などの体験にさらされた女性は、生涯にわたって心身の健康や社会経済活動などが、生きづらい状況に置かれる可能性が高いと言われています。子ども時代に受けた心の傷が、大人になってからどのように影響を及ぼすのかを知り、困難な問題を抱える女性の背景と状況から、誰もが生きやすい社会にするためにはどうすればよいのかを考えてみましょう。

【講師】三谷 はるよ さん

大阪大学大学院人間科学研究科准教授。2014年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。大阪大学大学院助教、福谷大学社会学部講師・准教授を経て、2024年4月から現職。第2回福祉社会学会奨励賞、第15回日本NPO学会林雄二郎賞を受賞。専門に家族社会学・福祉社会学。著書に『ACE サバイバー 子ども期の逆境に苦しむ人々』。



日時 令和6年10月16日(水)
13時30分～15時30分

会場 宇治市男女共同参画支援センター 会議室1

定員 30人(申込多数の場合抽選)

対象 テーマに関心がある方ならどなたでも

参加費 無料

保育 0歳6カ月～就学前(要予約・申込多数の場合抽選)

締切 10月9日(水)

主催
宇治市男女共同参画支援センター